

連載企画【第11回】

「お墓」のはなし

お墓をキレイにしませんか？

～「国産墓石」と「外国産墓石」は何が違う？～

有限会社 福井石材
代表取締役 福井 基紘

「国産墓石」と「外国産墓石」

墓石の購入を検討されているお客様から、よく「国産の墓石と外国産の墓石はどう違うの？」と質問を受けることがあります。このような質問には「国産の墓石は日本の石を日本で加工していて、外国産の石は一度中国に行って、中国の工場でお墓の形まで加工して日本に行きます。」と説明します。厳密に言うと、すべて外国の石が中国で加工されているわけではありませんが、現状ほとんどの墓石材料は中国の工場でお墓の形まで加工され、日本に向けて輸出されています。

それと同時に「中国で加工」と聞くと、不安を口にされる方もいますが、もともと中国では石材加工の文化が古くからあり、加工技術は高いです。なので、決して中国で加工した墓石が悪いと言うわけではありません。しかし、残念ながらほんの一部ですが、石の傷やヒビなどを、薬品で一時的にわからなくして輸出している工場もあります。

「国産墓石」にも色々あります

また、中には国産墓石と表示されていても、日本で掘り出した原石を中国に輸出して、加工されていることがあります。当店ではしないことですが、「国産」という言葉の定義から日本で産出されたものであれば「国産墓石」と表示してもいいのです。もし国内の加工にこだわるのであれば、石屋さんに「これは国内で加工していますか？」と質問してください。失礼なことではないので気軽に聞いてみてください。

外国産は品質が悪い？

その他によくされる質問で「外国の石は品質が悪いの？」と言うものもあります。この質問に対しては「悪いものもあるし、良いものもありますよ。」と答えています。そもそも品質の良い石とは、年数が経ってもピカピカなきれいな石だということでしょう。なので、当初のツヤが落ちず、雨風にも負けない「硬い石」が品質の良い石ということになります。

硬い石というのは日本にも外国にもあります。そして、その逆に品質の悪い石も日本にも外国にもあります。インドなどの外国の石には、非常に品質が良いものがあり、一概に外国の石が悪いとは言い切れません。



気持ちを込めてお参りしてください

今回は、国産と外国産の墓石について書きました。加工や品質の事、金額が高い安い、大きいか小さいかなど、色々ありますが、眠っておられるご先祖様を思い、気持ちを込めてお参りされているお墓はどれも良いお墓です。

そんなお墓と向き合い語りかけてください。きっと気持ちが鎮まり、心が整理され、気分も一新できることでしょう。あなたに素晴らしい明日がやってくるようご先祖様はきっとあなたを守ってくださいます。